

たかといちどいだよ



令和8年 2月 第124号
たかといちどい保育園



春が来た♪

宮田 孝一

2月3日は節分です。この日までが大寒で、翌日から節気は立春に入り、暦の上では春になります。寒が明け、一陽来復、日一日と暖かく、明るくなっていきます。心が躍ります。

さて、節分は年に何日あるでしょうか。節分は、読んで字のごとく、季節の分かれ目と書きます。春夏秋冬、それぞれの季節に入る日(立)の前日を節分といいます。

それなら、年に4日あるうちの立春前日の節分を、ことさらに取り上げて儀式や風習が行われてきたのはなぜ?と疑問が湧きます。これにも昔の暦(旧暦)が関係しているそうです。

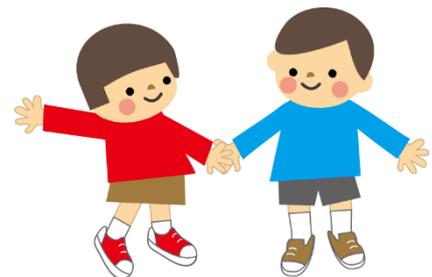
今の2月は、旧暦の正月に当たります。そこで、今年 of 厄や災いを祓い、新しい年を清らかな心と身で迎え、よい年になりますようにと願って、冬の節分に様々な行事が行われるようになったのです。鬼祓いに豆まき、鯛や恵方巻に加え、けんちん汁や蕎麦を食べる地域もあるそうですが、厳しい冬を乗り越えられたことを喜び、これからも健康で暮らせることを、家族で祈る一日にしたいですね。

「去ぬ(行く)、去る、逃げる」のことわざとおり、令和7年度も残すところ2か月となりました。ゆめ組の子どもたちは、「わくわく発表会」「卒園式」そして小学校入学に向けて、いよいよカウントダウンが始まります。一日一日を大切にして、思い出をたくさん作ってほしいです。



2月の予定

節分の会	3日(火)
救急訓練	3日(火)
誕生会	4日(水)
発育測定	16日(月)~18日(水)
避難訓練	20日(金)
幼児わくわく発表会	21日(土)
体育あそび	5日(木)・19日(木)



自分でできることが増え、衣服の着脱にも少しずつ挑戦しているあさひ組の子どもたち。オムツ交換や着替えの際に、保育士が少しズボンを下げるのを手伝うと、自分で下ろそうとしています。また、戸外遊びの際には靴下を持って履こうとしたり、脱ごうとしたりしようとする姿がよく見られるようになりました。これからも、身の回りのことに興味を持ち、進んで取り組めるよう一つひとつ丁寧に伝えていきます。

最近では、友だちとの関わりが増えてきました。友だちの遊びに興味を持ち、保育士の仲立ちのもと、「かして」「どうぞ」「ありがとう」のやりとりができるようになってきています。保育士と一緒に遊ぶ中で、思いを言葉にして伝えたり、気持ちに共感したりすることで、友だちと一緒に遊ぶことが楽しいと感じられるようにしていきます。



あさひ組



先月は、「なべなべそこぬけ」「ひっつきもっつき」「むっくりくまさん」などのふれあいあそびを楽しみました。みんなで手を繋いで遊ぶ際には、「〇〇ちゃんおててつなごう」と友だちを誘ってみたり、「つぎはぴょんぴょんしよう」とやりたいことを伝えたりと、言葉や仕草でやりとりをして、友だちとのふれあいを喜ぶ姿が多く見られました。今後も様々なふれあい遊びをする中で、友だちと楽しく関わってあそぶ姿を見守ったり、様子に応じて仲立ちをしたりし、関わりを深めていけるようにします。

食事の時間が楽しみで、スプーンやフォークを使って最後まで自分で食べようとする姿が増えてきました。一人ひとりの食事の様子に合わせて、傍で丁寧に食具の使い方を伝えたり、手を添え援助したりし、スプーンやフォークを使って楽しく食事ができるようにしていきます。



おててつなごう



うさぎ組



先月は、上着のチャックやボタンの留め外しに取り組みました。戸外に出る準備をするたびに丁寧に留め方を伝えたり、一人ひとりの様子に応じて援助をしたりしました。初めは難しく保育士を頼る姿も見られましたが、少しずつ自分でしようとしたり、「こう？」とやり方を確認したりする様子が見られるようになってきています。引き続き自分で取り組めるよう、様子に合わせて援助したり見守ったりしていきます。

幼児の保育室に遊びに行った際に箸に興味をもったり、給食中に箸の話題が出たりしている様子があります。今月は、ままごとなど遊びの中に箸を取り入れることで持ち方や使い方を学び、遊びを通して慣れていけるようにしていきます。



むずかしいけどじぶんでしてみよう



うさぎ組





きりんグループ



食事のマナーについて話をしました。椅子がまっすぐか？足は床についているか？器を持って食べているか？など意識する点を伝えました。足をぶらぶらさせていたり、足を組んで座っていたりする子どもがいるので、正しい姿勢で食事ができるようにしています。椅子が高くて足が床につかなければ台を置き、足をつけて食べられるよう配慮しています。足を着けることでしっかり噛むことができます。歯並びにも影響するそうです。保育士の代わりに気付いた子どもたちが「〇〇ちゃん あしはまっすぐにしようね」「△△くん からだがゆがんでるよ」と伝えてくれています。一人ひとりが意識していけるよう引き続き見守っていきます。

今月は一段と寒くなりますが、マラソンやしっぽ取りをして、寒さに負けず戸外で体をしっかり動かせるようにしていきます。



うさぎグループ



先月は講師の方に正しい歯の磨き方を教えてもらいました。歯を磨く順番や歯ブラシの持ち方など、一つひとつ再確認しました。鏡の前でさっそく実践していた子どもたちは、「こんにちは」「さようなら」と言いながら歯ブラシを持ち替えて、鏡を見ながら磨いていました。今後も丁寧に磨く習慣がつくように、確認したり、必要な際は声を掛けたりしていきたいと思います。

かるたやトランプなどのカードゲームが大好きな子どもたち。年齢に関わらず、友だちを誘って遊ぶ姿が見られます。今月は色々なカードゲームや、ルールのある遊びを取り入れ、遊び方を丁寧に伝えることで、ルールを守りながら楽しく遊べるようにしていきます。



ぞうグループ



先月は、かるたやだるま落とし、福笑いにコマ回しなどの様々な伝承遊びを取り入れ、昔の遊びをのびのびと楽しめる時間を設けました。様々な遊びを取り入れる中でみんながとくに楽しんでいたのは、福笑いでした。目を隠しながら顔のパーツを貼っていき、どんな顔になるのか想像しながら指先の感覚を頼りに遊んでいました。難しいところは保育士が手伝い、ゆめ組には次に渡すパーツを知らせる役をお願いすると、みんなで協力しながら楽しんでいました。今後は、ゴム跳びやめんこなど昔の遊びも取り入れ、友だちと一緒に楽しめるように配慮していこうと思います。

先月、歯磨き指導がありました。改めて歯ブラシの持ち方について話し、その都度意識できるように声をかけ、丁寧に磨けるように必要に応じて援助していきます。



いちだんできた！

へんなかおだー！



ひかりぐみ

♪ << 表現するって楽しいね♪ >> ♪

ひかりぐみでは4月から、体操をしたり動物や海の生き物などに变身して遊んだりなど、身体を使って表現することを楽しんできました。音に合わせて表現することが大好きな子どもたちは、音楽が聞こえると、ジャンプしたり、ゆらゆら体をゆらしたりとのびのびと表現する姿が見られます。

体操では「ラーメンたいそうしよう!」「おててフリフリだよ～」とやりたい曲を伝えたり、振り付けを伝えたりしながら楽しく体を動かしています。1曲終わると、「もう1回したい～」「つぎは〇〇しよ～」と言い、繰り返し楽しんでいきます。



ぴょんぴょん



にょにょ～



ラーメン体操

ピカピカブー



表現あそびでは、初めは保育士が表現するものを決めたり表現の仕方を考えたりしていました。繰り返し遊ぶ中で、「うさぎさんはぴょんぴょんだよ」「へびはにょにょだよ～」と子どもたち同士で話をしながら、なりたいものを伝えたり、表現の仕方を考えたりし、楽しむ姿が増えてきました。今後も様々な体操や表現あそびをする中で、感じたこと考えたことを動き、言葉など様々な方法で自由に表し、一人ひとりの創造性や感性を豊かに育てていきます

♪ << 私の推し活 >> ♪

昨今「推し活」という言葉がすっかり定着した世の中となりました。皆さんにも何かしら推しがあるのではないのでしょうか。

私の推しは「PEDRO」というバンドでベースボーカルを務める「アユニ・D」という人物です。彼女は2023年に解散した「BiSH」というグループのメンバーでした。BiSH活動中に二足の草鞋でバンド活動を始動、BiSH解散後の現在も、楽曲制作やライブ活動などを精力的に行っています。ツアーやイベントの発表があれば、私はすぐに会場や日程を確認し仕事との調整を行い、各地に遠征しています。会場ではライブ仲間と一緒に拳を突き上げて熱唱したり、チケットの整理番号に恵まれたときは最前列でライブを見たりと楽しんでいます。ライブ後にはサイン会や2ショット撮影会などにも参加しています。自分で描いたイラストを持って参加した際には、本人から「欲しい」と言われてその場で手渡したこともありました。2024年に行われたツアーでは、ライブの感想をレポートという形で募集する企画がありました。各会場での最優秀レポートに選ばれた人は、忘年会と銘打った飲み会に招待というもので、なんとその最優秀レポートに選ばれ、推しと一緒に食事をしたこともありました。そんな推し活を続ける中で、「PEDROのライブに行く、アユニ・Dに会いに行く」ということは、すっかり私の活力の源となっています。

近年、「推し活は健康にいい」という研究結果や論文なども発表されるなど、精神的にも経済的にも、多方面によい影響を与えている推し活。皆さんも「推し」を作って「推し活」してみたいかでしょうか?また、皆さんの推しもぜひ教えてください。

伊藤 愛朗

